

SUN なな×ト。

地域に残り
人をつなぎ
宝を守る
夢の実現へ



母永「宝と夢」の里づくり
協議会 副会長・事務局長
渡邊 秀仙さん
Hidehisa Watanabe 永沢寺



ラジオ・ハニーFMでもっと詳しく聴けます！【8/15 15時10分～】

「『宝』は子ども、『夢』は地域の活性化。母子・永沢寺らしさと願いを込めました」と、協議会の名称の由来を教えてくださいました。渡邊秀仙さん。今年1月に発足した母永「宝と夢」の里づくり協議会副会長兼事務局長を務めている。「子どもは地域の宝」とは、昔から地域で語り継がれた言葉。学校や子どもとのつながりが強いところがこの特色だと言う。学校行事は地域と合同で行うのが当たり前。いきいき百歳体操の会場に子どもたちが訪問する交流会は、住民の毎月の楽しみだ。自らも母子小学校に通い、わが子の育友会や特認校サポートクラブに20年以上携わり会長も務める経験から、多くの人たちの子どもへの想いを特に強く感じてきた。今年で創立150周年を迎える母子小学校は「皆の母校」であり、人々をつなぐ「地域の拠点」となっている。



母永「宝と夢」の里づくり協議会で一緒に活動する
榎田 作巳さん

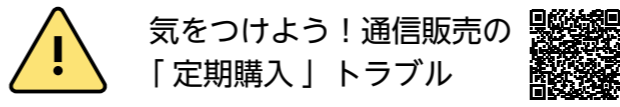
全員が賛成というわけにはいかなかったが、意見はさまざまでも地域を守りたい想いはみんな同じはず。「一番大切なのは地域の人の気持ち。地域を守るための行動であることを伝え、少しでも納得してもらいたい」と一軒一軒根気強く説明を続け、半年が経った頃、設立準備会が発足した。

渡邊さんが活動を続ける背景に、大学時代に地元を離れた経験がある。モノが溢れ、便利な都会での生活を送る中、地元には「帰りたい」との思いがあった。「両方を知る自分だから伝えられることがあるのでは」「世代を超えて意見交換できるつなぎ役」と今日も笑顔で地域のために力を尽くす。

「ここに住むことを選んだからには何かしないと」。地域の宝を守り、夢を実現する使命を担って。

温厚な人柄で常に地域に寄り添ってくれるため、いつも皆から頼られています。地域の顔として信頼が厚く、相手に意見や気持ちを伝えるのが上手なので、協議会にも地域にも、なくてはならない存在です。

消費生活情報



【相談事例】
①スマホ広告を見て、しわ改善クリームを1回だけのつもりで注文したら、定期購入になっていて2回目が届いた。すぐに解約したいが連絡がつかない。
②ダイエットサプリの無料モニターに申し込み、商品が届いた。その後、メールが次々と届いたが無視していたら定期購入の契約が成立し、解約できなくなった。

【回答・アドバイス】
通信販売はクーリング・オフができません！契約内容や解約・返品の可否などは、必ず事前に明示しなければならないとされているため、注文を確定する前に、最終確認画面や規約などを最後までよく確認しましょう。

- 【チェックポイント】**
- ✓ 1 回限りの購入か。
 - ✓ 継続的な購入の場合、回数や支払い総額が定められているか。
 - ✓ 解約や返品が可能か。特別な条件がないか。
 - ✓ 最終確認画面を保存しましょう。

三田市消費生活センター (559-5059 FAX 563-8001)
相談受付 = 月曜～金曜、第2・4土曜 10時～17時
休所の場合は「消費者ホットライン」188番(いやや！)

防災・防犯・交通安全

性犯罪から身を守る防犯対策 夏から秋は被害が増加します！

性犯罪は被害者の身体だけでなく、心まで傷つける卑劣な犯罪です。しっかりと対策し、身を守りましょう！

- 狙われやすいのはこんな時！**
- 夜道を歩きスマホやイヤホンをして歩いている
 - 家の玄関や窓の鍵をかけずに寝ている
 - マンションのエレベーターに見知らぬ人と同乗する

- 被害に遭わないための心がけ**
- 人通りの多い、明るい道を選ぶ
 - 危険を感じた時は、大声や防犯ブザーで周囲に助けを求め、近くの店や家に駆け込む
 - エレベーターに乗る前に周囲を確認し、2人きりで乗り合わせることを避ける
 - エレベーター内で同乗者に恐怖を感じた時は、行き先階ボタンを全部押して止まった階で降りる
 - 家に入ったら、すぐに施錠。チェーンも忘れずに
 - 訪問者は、インターホンやドアスコープなどで確認

■ 被害に遭ってしまった時の相談窓口があります
ひょうご性被害ケアセンターよりそい (078-367-7874)
月曜～金曜 (祝日、12/29～1/3を除く) 9時～17時
問い合わせ = 三田警察署 (563-0110 FAX 562-0110)

共生

手話にチャレンジ！ < Vol.26 > 「家族」の手話を学ぼう

今月も「家族」の手話です。手話は聞こえない人と聞こえにくい人とコミュニケーションを図るための第一歩。皆さんも一緒にやってみましょう！

問い合わせ = 障害福祉課
(559-5075 FAX 562-1294)

息子

娘

両親

動画をみてやってみよう ▶

動画では会話編など、実践的な使い方も紹介しています！

消防・救急・救命

リチウムイオン電池の火災に注意

モバイルバッテリーや携帯用扇風機、スマートフォンなど、身近な電気製品に使われている「リチウムイオン電池」。落下させたり、一般ごみと一緒に収集車で押しつぶされたりするなど、強い衝撃が加わると異常発熱し出火することがあるので注意が必要です！

- ！ 気をつけるポイント**
- ✗ 衝撃を与えない
 - ✗ リコール対象商品を使用しない
 - ✗ 製造元の不確かな製品を使わない
 - ✗ 分解や改造をしない
 - ✗ 一般ごみに捨てない

■ 使用済み小型家電は無料回収ボックスへ！

市内6カ所に無料回収ボックスを設置しています。家電本体、電池、充電器をブランド、メーカー問わず無料で回収し、リサイクル事業者により適正にリサイクル処理しています。詳しくは市HP (右記2次元コード) をご覧ください。

問い合わせ = 消防本部予防課 (564-7307 FAX 563-1230)